

道民の皆様へ

～交通事故防止に向けたお願い～

北海道の交通事故死者数は、昨年からの減少傾向が継続され、5月13日には昨年同時期に比べ、最大15人の減少となっておりますが、6月に入ると交通死亡事故の発生に歯止めがかからず、7月17日には、交通事故死者数は68人となり、本年初めて、死者数が昨年同時期に比べプラスに転じ、極めて憂慮すべき事態となりました。

これまで、悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、関係機関・団体、そして多くの道民の皆様と、交通安全運動に取り組んでいるところではありますが、本道は、これから本格的な観光シーズンの到来を迎え、観光・レジャーによる交通量の増加や気温の上昇に伴う集中力の低下など、交通事故発生の要因が重なり、正面衝突や車両単独事故等、重大事故の発生が懸念されます。

交通事故による犠牲者をこれ以上増やさないためには、道民一人一人が、交通安全に対する意識を強く持ち、交通ルールを遵守し、お互いに思いやりをもって、交通事故防止に取り組んでいくことが何よりも大切です。

運転者、同乗者の皆さんにおかれましては、

- スピードダウンを励行し、全ての座席で必ずシートベルトを着用する
- 昼間からライトを点灯する、デイライトを実践する
- 飲酒運転を絶対しない、させない

歩行者、自転車利用者の皆さんにおかれましては、

- 横断歩道を利用し、左右の安全を確認する
- 夜間は、明るい色の服装や夜光反射材を身につける
- 自転車のときは、左右の安全を確認し、夜間はライトを点灯する

などを必ず実践していただくために、家庭、学校、職場、地域などで、安全な行動や命の大切さについて、道民一丸となって再確認する取組をしていただきたいと思います。

交通事故は決して他人事ではありません。

どうか、これ以上、交通事故の犠牲者が増えることがないように、交通事故防止の気運を大きく盛り上げていただき、交通事故のない安全で安心な北海道の実現に向け、引き続きご協力をいただきますようお願いいたします。

平成29年7月18日

北海道環境生活部長 小玉 俊宏
北海道警察本部交通部長 磯部 哲志